

科 目	歴史総合	学年・類型	3年・普通科	単位数	3
教科書	わたしたちの歴史 日本から世界へ (山川出版社)				
副教材等	なし				
学習目標	歴史の基本的事項を、日本の歴史の時間軸から世界へ広げながら理解する。また過去の出来事について、常に現代とのつながりや関連を踏まえたとらえ方をする。特に近現代史の学習については、現代の諸課題との関係性を踏まえながら、多角的な視点からの考察を行い、歴史的思考力や公民的資質の形成に努める。社会的事象の公共的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を養います。				
観点別 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	日本や世界の歴史について、政治・社会・経済・文化などの面から多角的に理解している。また、そのことに関する調査方法を学び、諸資料や統計から様々な情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身に付けている。	日本や世界の過去の政治体制・社会制度・経済制度・文化などの特性や課題について分析できている。さらに、その課題を現代に置き換えて考えることができている。また、それらの成果を自分の言葉で表現することができる。	過去の歴史に学び、よりよい社会の実現に向けて、課題を主体的に追究し、解決しようとしている。多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の多様な歴史的背景を理解し、自他の生活文化を尊重しようとする自覚が深まっている。		
評価方法	各学期末は観点別評価と評点で、学年末は観点別評価と評点及び5段階評定で評価します。観点別評価はA・B・Cの3段階で総合的に評価します。「知識・技能」は定期考査、小テストなど、「思考・判断・表現」は定期考査、課題やレポート、授業中の発表内容など、「主体的に学習に取り組む態度」は提出物や授業態度などを基に評価します。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	歴史の扉 1 歴史と私たち 2 歴史と資料 第1部 近代化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な学校の歴史を学習することによって、なぜ歴史を学ぶのか、そのためにはどのような種類の資料を利用するのかということ考察します。</li> <li>産業社会と国民国家の形成を背景として、人々の生活や社会のあり方が大きく変わった近代化の歴史を学びます。</li> <li>近代化の歴史が、現代のどのような問題とつながっているかを考え、それに対してどのような対応をしたらよいのかを多角的な視点から考察します。</li> </ul>			
二 学 期	第2部 国際社会の変化や大衆化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治・経済・文化など様々な面で国際的な結びつきが強まり、国と国との関係性が変化していった時代について学びます。</li> <li>個人や集団の社会参加が拡大したことから、人々の生活や社会のあり方が変化した歴史を考察します。</li> <li>国と国との関係性の変化、人々の生活や社会のあり方の変化が、現代のどのような問題とつながっているかを考え、それに対してどのような対応をしたらよいのかを多角的な視点から考察します。</li> </ul>			
三 学 期	第3部 グローバル化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の革新を背景に、人・商品・資本・情報などが国境をこえていっそう流動するようになり、人々の生活や社会のあり方がさらに変化した時代を考察します。</li> <li>このような変化が現在のどのような問題とつながっているかを考え、それに対してどのような対応をしたらよいのかを多角的な視点から考察します。</li> </ul>			